

伝統芸能の保存と継承

―課題と方策―

埼玉県文化財保護協会

副会長 板垣時夫

はじめに

コロナ禍の影響

「三峰の獅子舞」高齡化・人手不足で幕(埼玉新聞 令和6年8月26日記事)

1 今日の課題

(1) 「消えた」百余の祭り 毎日新聞 令和6年11月9日記事

- ① 都道府県指定無形民俗文化財 減少団体 31県、102件
- ② 理由 子ども・若者らの担い手不足、後継者不足、資金不足
- ※少子化及び過疎化による民俗文化財の担い手の減少
- ※生活様式、生産活動の変化による地域共同体の変化
- 専門的知識やノウハウの伝承不足

(2) 桶川市民俗芸能アンケート結果 令和6年3月調査(市内20団体)

- ① 活動の再開：11団体(55%)、再開予定：3団体(15%)
- ② 現況について
- コロナの影響、人手不足、後継者の高齡化、会員の減少、若手の参加が少ない

(3) 白岡市の子どもお囃子会の活動から

新たなお囃子会が発足したが育った小学生が中学生の部活動で去っていく



上日出谷の囃子



高岩囃子連

2 さまざまな方策

(1) 担い手の確保への取組み

- ① 加須市玉敷神社神楽 ⇨ 地域制限の撤廃、女性の参加
- ② 蓮田市閨戸の式三番 ⇨ 若衆年齢の拡大、長男制の撤廃
- ③ 春日部市銚子口の獅子舞 ⇨ 女性の参加
- ④ 越谷市八坂神社の祭礼
(大沢3丁目町会) ⇨ 担ぎ手募集し他地域からの参加
- ⑤ さいたま市日進餅つき踊り ⇨ 自衛隊隊員が会員、地域人材の発掘(高校、大学、企業)



玉敷神社神楽

(2) 復活する伝統芸能

- ① 各地で復活した伝統芸能
さいたま市緑区南部領辻 「南部領辻の獅子舞」
久喜市鷺宮神社 「鷺宮催馬楽神楽」
- ② 動画や写真、文字による記録化 ⇨ 将来復活への玉手箱
※行政の支援が必要



南部領辻の獅子舞

(3) 子ども、若者への働きかけ

- 事例発表 ・神明はやし連中
・久喜市教育委員会、鷺宮催馬楽神楽保存会



鷺宮催馬楽神楽伝承教室

(4) 地域を巻き込んだ取り組みとマニュアル化

- 事例発表 ・戸ヶ崎香取浅間神社獅子舞保存会



戸ヶ崎香取浅間神社の獅子舞

(5) 行政に求められること

- ① 保存団体に的確な支援、情報提供
⇨ アイデア、実践例の共有
「因幡麒麟獅子舞の会」50団体加盟
指導者養成、保存会支援、広報の3部会
- ② 民俗芸能公開の場の提供 ⇨ 郷土芸能大会の開催
市民に知ってもらう、理解を深める
保存団体会のモチベーションアップ

おわりに

《新たな後継者の確保に向けて》

少子高齢化や社会への帰属意識の変化等により、伝統芸能を取り巻く環境は厳しいものがあります。その中でどのようにして、これから永続的に無形民俗遺産である伝統芸能を継承していくのがよろしいでしょうか。

大きな視点は「変化の容認」ではないでしょうか。

民俗芸能は時代とともに変化するものであり、始まった当時のそのままの姿で現在も行われているものとは限りません。今まで伝統を変えないようにがんばってきた先人たちの取組は尊いですが、たとえ形を変えてでも継承していけるのであれば、変容してもいいのではないのでしょうか。さまざまな問題を乗り越えるたびに民俗芸能は変化します。

伝統芸能を継承している団体の置かれている地域性、環境はさまざまです。それぞれの地域にあった取組みが求められているのではないのでしょうか。

最後に、「変化」ではなく「進化」として捉えてみませんか。